

都市再生整備計画(第6回変更)

神戸電鉄小野駅周辺地区

兵庫県 小野市

平成21年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	兵庫県	市町村名	小野市	地区名	神戸電鉄小野駅周辺地区	面積	202	ha
計画期間	平成16年度～平成20年度	交付期間	平成16年度～平成20年度					

目標

大目標：メインステーション及びシビックゾーンの周辺整備と住民まちづくり活動の支援による安心安全のまちづくりの推進

目標①駅周辺及び中心市街地整備の推進により、交通環境の向上、歩行者等の利便性、快適性の向上を図る。

目標②住民参画の都市基盤整備を推進し、特色ある公園等を整備し、快適な生活環境を創る。

目標③NPO等市民活動を支援することにより、中心市街地のコミュニティや商店街の活性化を図る。

目標④シビックゾーンの都市基盤整備及び景観整備を行うことにより、快適な都市環境と魅力ある都市景観の形成を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・神戸電鉄小野駅周辺地域は、南北に延びる街道集落状の城下町を核として形成された小野市の中心市街地であり、本市の玄関口である。神戸電鉄は、神戸大阪方面への通勤通学の手段として利用されるなど、地域社会経済の発展に大きな役割を果たしている。しかし、モータリゼーションの進行や、市街地中心部の住民の高齢化等によって、鉄道利用者数が年々減少するとともに、駅前から北に約800メートル連なる商店街、旧国道沿線を中心にした中心市街地の賑わいも失われている。

・当駅周辺は、駅前広場、公園、駐車場等の整備を昭和63年から実施している。また、今後の成熟社会の進展に対応するために、平成15年の試行運転期間を経て平成16年度より正式に運行を開始したコミュニティバスのターミナル整備が必要となっている。

・小野市総合計画において、当地区は、商店街の活性化、市民生活に密着したサービス空間の創出のため、都市機能を積極的に整備し、土地区画整理事業等の導入により計画的に市街化を図る地域として位置付けられている。駅西側の都市整備基盤を推進している地区においては、土地区画整理組合の意見や地元住民の発案により、駅周辺に位置する公園等の整備を計画的に実施してきている。

・小野市都市計画マスタープランにおいて、当地区は、快適な住みよいまちづくりを実現するために、本市の中心地区にふさわしい都市景観の形成を図る地域として位置付けられている。特に景観整備が必要とされ、公共施設が集積するシビックゾーンでは、平成13年度に市役所周辺の環境整備が行われ、NPOが管理運営予定の市民活動の拠点施設うるおい交流館が平成17年春オープンする予定である。

・平成14年度からは、駅周辺の自治会がまちづくりアドバイザーの派遣をうけ、コミュニティの再生や住民協働のまちづくりについて、勉強会を実施し、都市再生整備計画の策定にあたり、上記地区との市政懇話会において意見交換を行った。

課題

本格的な成熟型社会の進展により、中心市街地においても、人口減少、高齢化が進んでおり、経済活動の活力が失われている。大都市周辺部の都市として、安定した都市経営のため、安全安心して生活する環境を確保するためには、中心市街地の再整備が最大の課題である。また、地域を活性化していくためには、住民参画のまちづくりの推進が必要不可欠である。

・当地区の整備は、駅前広場、駐車場など順次整備を推進しているが、バスターミナルの整備、自歩道の新設改良を行い、市役所、病院、図書館等の公共施設、商店街、公園等への回遊性、施設利用者の利便性を向上させる。

・土地区画整理組合による区画整理事業の実施、住民の提案による地区計画を策定するなど、個性あるまちづくり、住民参画の都市基盤整備を推進している。引き続き特色ある公園、安心安全の自転車歩行者道路等を整備し生活環境を向上させる。

・人口減少、高齢化等による、地域コミュニティの停滞や空き店舗の増加などによる商店街の空洞化が顕著であるため、NPO等市民活動を支援し、空き店舗を活用して地域コミュニティ、商店街の再構築、活性化を図る。

・シビックゾーンにおいて、都市基盤整備が遅れている箇所、周辺の景観を損なっている箇所の整備を行い、快適な都市環境と魅力ある都市景観の形成を図る。

将来ビジョン(中長期)

交通結節点の整備を推進し、住民参画の都市基盤整備により、充実し快適な生活を創造する市街地コミュニティ

・小野市都市計画マスタープランにおいて、当地区周辺について、「当市の顔となる電鉄小野駅周辺は、モータリゼーションの進展による消費者の購買形態の変化、駅前中心商店街の老朽化・衰退化と相まって、中心としての求心力を失いつつある。今後、中心市街地のイメージ刷新のため、再整備を促進し、土地利用の純化を図る地域、高次の複合化を促進する地域等区別して整備していくことが必要である。」とされている。景観形成の方針においては、快適な住みよいまちづくりを実現するために、本市の中心地区にふさわしい都市景観の形成を図る地域として位置付けられている。また、小野市総合計画においても、「神戸電鉄小野駅等主要駅において、バスターミナルの整備改良を行うと共に、鉄道輸送とバス輸送との連携を強化し、利用客の利便性の向上を図る。また、公共交通の利用増進を図るため、沿線開発や観光レクリエーション施設の整備を進めると共に、市民の協力を得て駐車場・駐輪場を主要駅周辺に整備し、パークアンドライド方式、サイクルアンドバスライド方式の導入を促進する。さらに、市民に親しまれる公共交通機関を目指し、駅周辺へのポケット公園の整備、鉄道駅舎を利用したコミュニティ空間の創造など、駅周辺の整備を図る。」とある。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
駅周辺施設利用者の満足度	%	駅周辺施設利用者の満足度(満足度アンケートによる)	駅周辺施設の整備により、周辺住民の満足度を向上させる。利用者の6割以上が満足する環境めざす。	20	15	60	20
公園・道路利用者の満足度	%	公園・道路利用者の満足度(満足度アンケートによる)	道路及び地元住民の参画による公園整備を行い、利用者の満足度を向上させる。利用者の6割以上が満足する環境をめざす。	20	15	60	20
シビックゾーン利用者の満足度	%	シビックゾーン利用者の満足度(満足度アンケートによる)	シビックゾーンの都市基盤整備及び景観整備を行い利用者の満足度を向上させる。利用者の6割以上が満足する環境をめざす。	20	15	60	20
NPO会員数	団体	北播磨市民活動支援センター(NPO)の会員数	NPO会員数の2割～3割の増加を目指し、NPO活動の基盤を固め、地域の活性化に努める。	55	15	70	20
空き店舗活用団体数	団体	おのひまわり商店街の空き店舗の活用団体数	空き店舗を活用することによって商店街を活性化する。3団体以上の利用を目標とする。	0	15	3	20

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針１（駅周辺整備の推進、交通機関の連携） ・周辺住民の利便性や安全性を向上するため、周辺に駐車場、駐輪場を増設、改良する。 ・市の玄関口を形成し、交通結節点の機能を向上するため、コミュニティバスに対応した駅前広場の再整備及び駐輪場等の整備を行い、親しみやすい空間を創出する。	地域生活基盤施設（基幹事業/駅前広場、駐車場、自転車駐車場、情報板） 高質空間形成施設（基幹事業/緑化施設等）
整備方針２（住民参画の都市基盤整備の推進） ・個性と魅力あるまちづくりを推進するため、土地区画整理組合による区画整理事業を実施し、地区計画に基づくまちなみ景観を形成する。 ・快適な生活環境の向上と、愛着のあるまちなみを形成し、災害時には一次避難地としても利用できるよう、駅周辺等の公園を、地域住民と共に協力して整備する。また、歴史的施設を活かして整備する等地域の特色に配慮する。 ・地域間交通と歩行者空間を確保するため、街路整備、自転車歩行者道路整備を行い、交通安全性を向上させる。 ・愛着のあるまちなみの形成と住民参加のまちづくりを推進するため、小野市の中心市街地への進入箇所、ガーデニングボランティアが管理を行う緑化施設を配置した景観整備を行う。	道路（基幹事業） 公園（基幹事業） 地域生活基盤施設（基幹事業/情報板） 高質空間形成施設（基幹事業/緑化施設等）
整備方針３（地域コミュニティ、商店街の活性化） ・まちなか人口の減少、高齢化によるコミュニティ活動の停滞等を改善するため、ＮＰＯ等の市民活動を推進、支援する。 ・店舗の郊外移転等による市街地の空洞化を改善するため、空き店舗を活用し、商店街を再構築、活性化する。 ・地域のコミュニティ活動を活性化するため、既存の施設を改修し、地区のコミュニティセンターを設置する。	地域創造支援事業（提案事業/商店街振興、空き店舗活用） まちづくり活動推進事業（提案事業/市民活動推進） 地域創造支援事業（提案事業/市民会館等改修）
整備方針４（シビックゾーンの都市環境整備の促進） ・シビックゾーンの交通環境の改善を図るため、駐車場整備、歩道の整備（拡幅、フラット化）等の道路整備を行い、交通安全性・利便性を向上させる。 ・本市の中心地区にふさわしい都市景観の形成を図るため、電線の地中化、歩道、公共施設等の美装化を行い、シビックゾーンの景観整備を図る。	道路（基幹事業） 地域生活基盤施設（基幹事業/広場、駐車場、情報板） 高質空間形成施設（基幹事業/緑化施設等、電線類地下埋設施設） 地域創造支援事業（提案事業/シビックゾーン景観等整備）
その他 ○事業終了後の継続的なまちづくり活動 当市では、まちづくりの維持、管理活動、イベント等企画活動等を継続して行う組織となる特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人）「北播磨市民活動支援センター」（平成15年12月22日特定非営利法人認定）の支援を継続していく予定である。 また、既存商店街区域については、小野商店街連合会を中心として、小野市商店街活性化を考えよう会を設立し、商店街の活性化についての検討、活動を続けている。 平成１９年１月には、地元自治会、小野商店街連合会、地域づくり協議会、小野商工会議所、各関係行政機関で構成される中心市街地まちづくり協議会が設立され、中心市街地の活性化について検討している。 ○まちなみ景観の形成について 現在主要な街路、公園において、植栽等の里親制度などを導入し、地元住民が主体となり管理が行われている。個性のあるまちなみ景観の創出のため、新たに整備を行う都市施設においても、これらの制度の活用を検討している。また、市内中学校の総合学習の場としても活用されている。 ○交付期間中の計画の管理について 交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果をあげるために、市役所とＮＰＯ、地域のボランティア団体、地域の自治会が協働して、毎年、事業成果についての評価や事業の進め方の改善について検証する。その結果については、随時市民に情報公開する。	

交付対象事業費	889	交付限度額	348	国費率	0.392
---------	-----	-------	-----	-----	-------

(金額の単位は百万円)

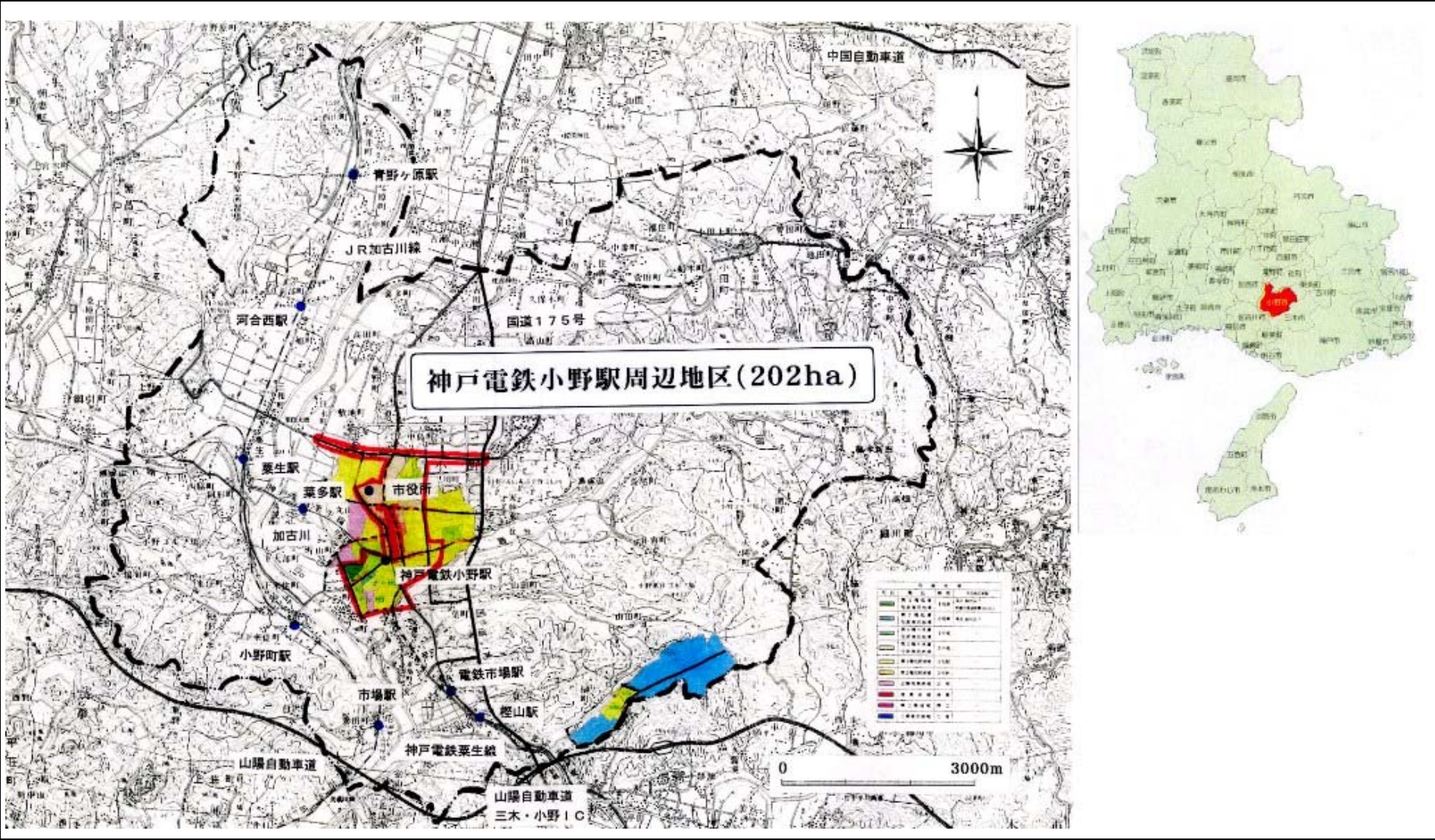
4...A

合計(A+B)	889
---------	-----

[illegible]

都市再生整備計画の区域

神戸電鉄小野駅周辺地区(兵庫県小野市)	面積	202 ha	区域	上本町、本町、本町1丁目、西本町、東本町、神明町、垂井町、中町、黒川町、大島町、王子町、中島町、浄谷町、敷地町の各一部
---------------------	----	--------	----	---



神戸電鉄小野駅周辺地区(兵庫県小野市) 整備方針概要図

目標	メインステーション及びシビックゾーンの周辺整備と住民まちづくり活動の支援による安全安心のまちづくりの推進	代表的な指標	駅周辺施設利用者の満足度 (%)	20	(15年度)	→	60	(20年度)
			公園・道路利用者の満足度 (%)	20	(15年度)	→	60	(20年度)
			NPO会員数 (団体)	55	(15年度)	→	70	(20年度)

